

PDCAチェックシート

実施年度	令和 6 年度		
事務事業名	観光推進事業		
	担 当 課 名		
	地域創生課		
【Plan】計画	【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善
■目的 観光基本計画に基づく各種観光振興事業を実施することにより交流人口を拡大し、地域経済の活性化へとつなげる。 また、地域活性化起業人制度を活用し観光推進体制の強化を図る。 ■成果指標(アウトカム・KPI) ※ 【目標値】 令和6年度末時点で ○市内観光施設入込客 年間100万人 【達成値(R6実績値)】 ○市内観光施設入込客 年間919,318人(R5 872,764人)	■具体的取組 観光パンフレットやマップの作成、旅行ガイドブックへの広告掲載、パンフレット類の設置場所の拡大、看板作成設置。 市観光協会や市瀬戸内国際芸術祭実行委員会などへの各種団体補助金・負担金の交付。地域活性化起業人制度の活用による観光促進。 ■インプット(投入金額等) 事業費等 観光一般費 57,942千円 ○パンフレット等印刷 3,389千円 ○旅行ガイドブック広告 400千円 ○魅力発信事業委託料 2,867千円 ○観光PRコーナー使用料 264千円 ○市観光協会補助金ほか 各種団体負担金・補助金 33,403千円 ○地域活性化起業人負担金 12,712千円 ○その他 4,907千円 ■アウトプット(数量等) 実施回数等 ○パンフレット等印刷 漫遊印刷 19,000部 観光マップ作成 28,000部 ○旅行ガイドブック広告掲載 発行部数(全国) 50,000部 ○観光PRコーナー使用料 (津田の松原SA上り) ○市観光協会補助金ほか負担金・補助金 ○地域活性化起業人によるPR活動 (東讃エリア観光振興事業含む) 10回※関西圏ほか	■成果指標の具体的な検証結果 (インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載) 観光推進として、市観光協会とともに観光パンフレットの発行や旅行ガイドブックへの広告掲載を実施。東讃エリア観光振興事業(さぬき市及び木田郡三木町)としては、新たに同エリアの観光パンフレットを作成したほか、県外などでPRイベントを実施し、同エリアのPRや観光客誘致に取り組んだ。 市観光協会においてもスタンプラリーやフォトコンテストに取り組んだ。 観光施設の入込客数は919,318人と前年度(872,764人)から増加した。観光地として決して規模の大きいエリアではない中、「体験」や「子どもが楽しめる」スポットという観光資源としての強みを活かして、目標とする入込客数100万人に年々近づいている。なお、入込客数として計上していない「湊川河津桜まつり」などの各種イベントにおける誘客数を加えると100万人を達成していると思われる。 また、市瀬戸内国際芸術祭実行委員会を組織したことで観光事業など関係者の連携が深まり、瀬戸内国際芸術祭2025や大阪関西万博にもつながる地域のさらなる一体感が生まれた。	■検証結果を受けての具体的な対応 2025年には大阪・関西万博と、瀬戸内国際芸術祭が同時期に開催される。両イベントの結節点ともなり得るここ東かがわ市においては、2025年だけでなく、2026年以降にもつなげる観光政策を市観光協会をはじめ、東讃エリアやASAなどの広域連携を活用して進める。 地域活性化起業人制度を活用した誘客ツアーの造成や食の魅力発信、持続可能な地域観光振興を実践することを目的として「せとうち観光専門職短期大学」と締結した包括連携に関する協定を活用して、旅行者の受入体制強化を図り、さらなる市の魅力度アップや観光資源の磨き上げに繋げたい。 ■評価 現状維持

※KPI…重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。